



2019年3月期第2四半期 決算説明会

東京製綱株式会社

(TOKYO ROPE MFG. CO., LTD.)

2018年11月29日

# 1. 2019年3月期第2四半期決算 および通期見通しの概要

## 2. セグメント別の状況

## 3. 中期経営計画の進捗

## 2019年3月期第2四半期 決算ポイント

スチールコード製品の販売増および石油製品の売上増により増収も、販売ミックス悪化やコスト増により減益

**売上高** 297億63百万円 〔前期比 +1.1%〕

スチールコード製品の販売増および原油高による石油製品の売上増により増収、エレベーターロープおよび道路安全製品の販売が減少

**営業利益** Δ80百万円 〔前期比 — 〕

販売ミックスの悪化ならびに国内の設備投資による償却費、諸資材およびエネルギーコストの増加により減益

**親会社株主に帰属する当期純利益** Δ3億41百万円 〔前期比 — 〕

台風による工場被害の特別損失計上により減益

# 2019年3月期第2四半期 決算ハイライト

(金額:百万円)

	18年3月期第2四半期		19年3月期第2四半期		前年同期比	
	金額	(売上高比)	金額	(売上高比)	金額	(増減比)
売上高	29,448		29,763		+315	(+1.1%)
営業利益	990	(3.4%)	△80	(△0.3%)	△1,070	—
経常利益	1,059	(3.6%)	△14	(△0.0%)	△1,073	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	744	(2.5%)	△341	(△1.1%)	△1,085	—

# キャッシュ・フロー

営業活動：概ね期間損益および減価償却費見合い

投資活動：有形固定資産の取得（CFCC新工場等）

財務活動：設備投資資金の調達（11億円）、配当金支払（6.5億円）

（金額：百万円）

	17年9月期	18年9月期
現金及び現金同等物の期首残高	3,144	4,352
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,708	1,125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,844	△2,443
フリー・キャッシュ・フロー	△135	△1,318
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,301	391
その他（為替換算差・新規連結に伴う増減）	169	26
現金及び現金同等物の期末残高	4,481	3,451

## 設備投資の状況

2019年3月期第2四半期  
設備投資額

2,149百万円  
(前年同期比+643百万円)

土浦工場 戦略投資 (競争力強化投資)	4億円
CFCC北上工場建設	6億円
防災製品カザフスタン新工場	2.5億円
その他	9億円

## 2019年3月期見通し ポイント

ほぼ全セグメントで増収となるも、コアワイヤの販売減および国内事業のコスト増により減益

**売上高** 650億円 [前期比 +2.3%]

タイヤコードの販売回復、開発セグメントの販売増により微増収

**営業利益** 15億円 [前期比  $\Delta$ 51.5%]

コアワイヤの販売減ならびに国内の設備投資による償却費、諸資材およびエネルギーコストの増加により減益

**親会社株主に帰属する当期純利益** 6億円 [前期比  $\Delta$ 76.2%]

第2四半期の特別損失計上により減益

## 2019年3月期見通し ハイライト

(金額:百万円)

	18年3月期		19年3月期見通し		前年同期比	
	金額	(売上高比)	金額	(売上高比)	金額	(増減比)
売上高	63,537		65,000		+1,463	(+2.3%)
営業利益	3,094	(4.9%)	1,500	(2.3%)	△1,594	(△51.5%)
経常利益	3,114	(4.9%)	1,500	(2.3%)	△1,614	(△51.8%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,523	(4.0%)	600	(0.9%)	△1,923	(△76.2%)



## 配当方針

19/3期：40.0円の配当を予定

年 度	17/3期	18/3期	19/3期 予定
配 当 (年度当り)	40.0円/株	40.0円/株	40.0円/株
配当性向 (連結)	34.4%	25.6%	108.5%

# 1. 2019年3月期第2四半期決算 および通期見通しの概要

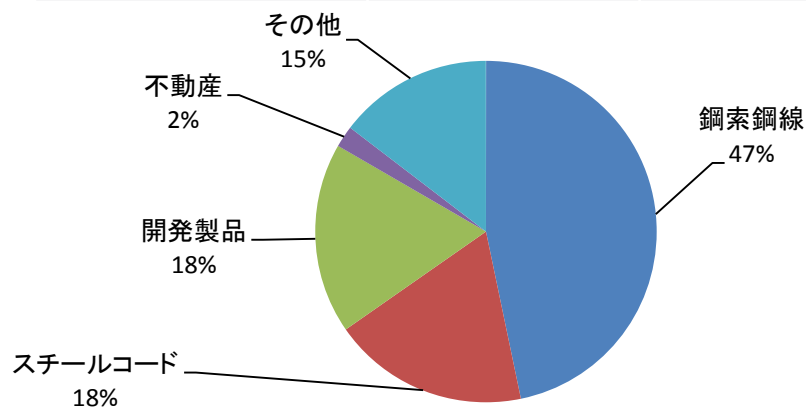
## 2. セグメント別の状況

## 3. 中期経営計画の進捗

## セグメント別の状況(第2四半期)

(金額:百万円)

	18年3月期第2四半期		19年3月期第2四半期		前年同期比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鋼索鋼線	14,163	1,006	13,908	700	△255	△306
スチールコード	5,361	50	5,525	△389	+164	△440
開発製品	5,858	△455	5,376	△846	△482	△391
不動産	620	144	605	150	△15	+7
その他	3,444	244	4,348	303	+904	+59
合計	29,448	990	29,763	△80	+315	△1,070



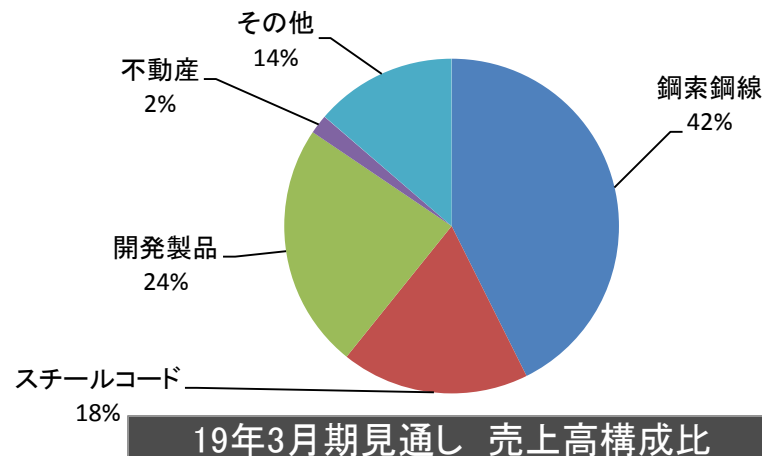
※その他のセグメント

原油高による石油製品の売上増および  
自動計量包装機の販売増により増収増益

## セグメント別の状況(通期見通し)

(金額:百万円)

	18年3月期		19年3月期		前年同期比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鋼索鋼線	27,531	1,912	27,700	1,500	+169	△412
スチールコード	11,436	534	11,800	△400	+364	△934
開発製品	14,799	△401	15,400	△500	+601	△99
不動産	1,215	329	1,200	300	△15	△29
その他	8,553	719	8,900	600	+347	△119
合計	63,537	3,094	65,000	1,500	+1,463	△1,593



## ※その他のセグメント

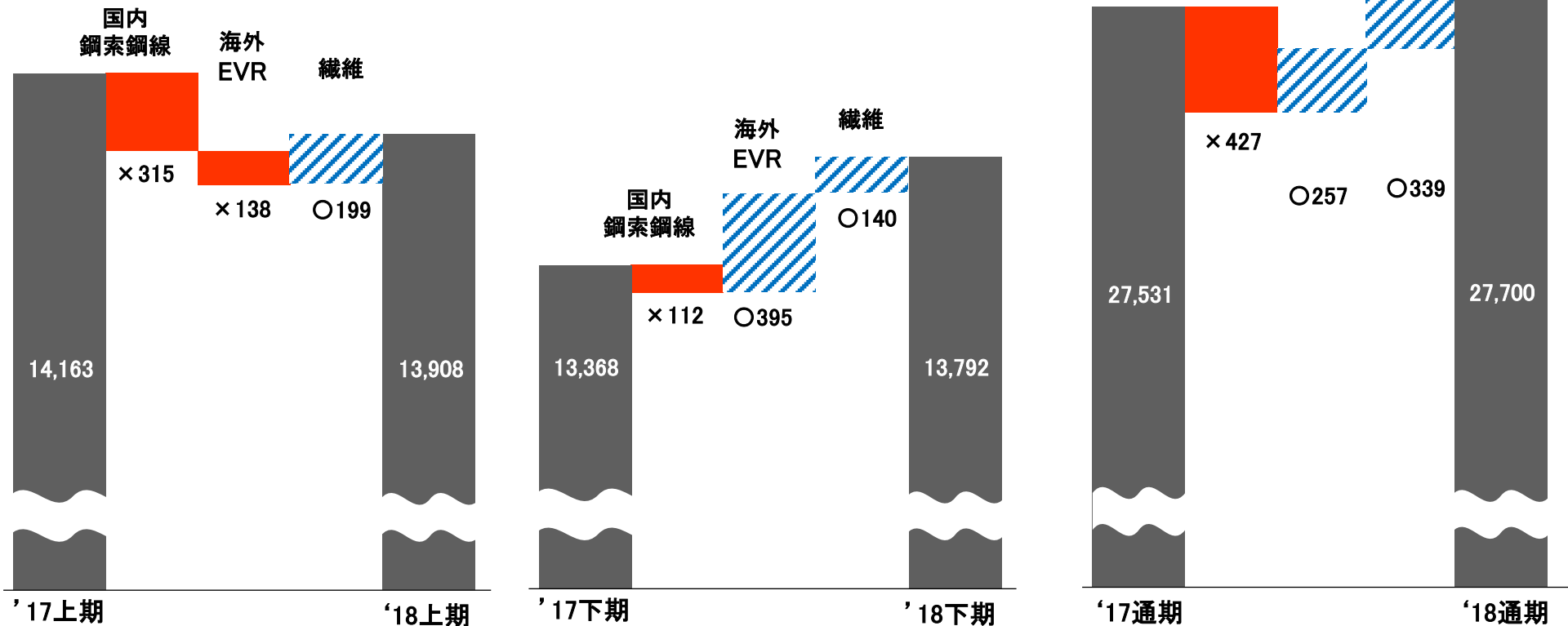
原油高により石油製品が売上増となるも、  
自動計量包装機(大型物件)の期ズレにより減益

# 鋼索鋼線セグメント (売上高)

(単位:百万円)

国内エレベータロープが減収  
 海外エレベータロープは下期以降販売回復  
 繊維ロープは水産向け中心に販売回復

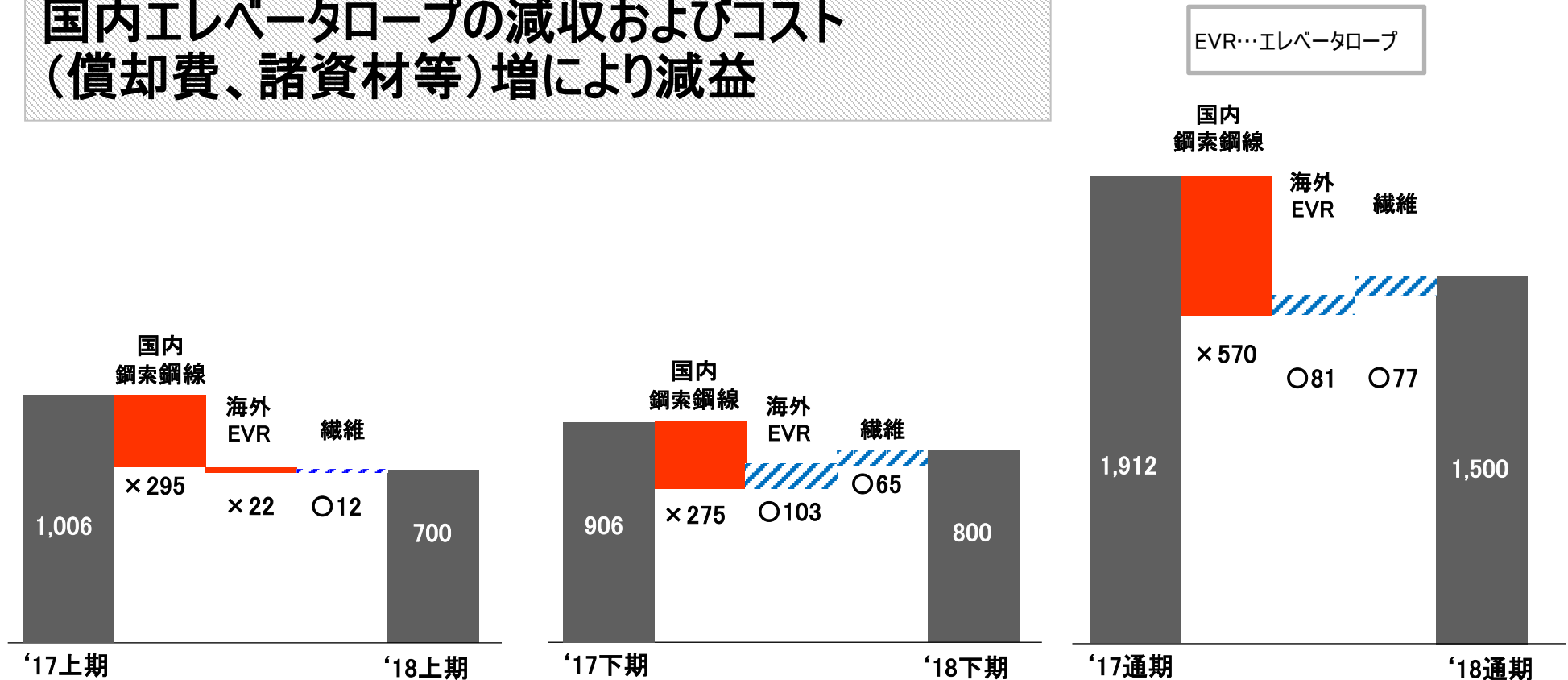
EVR…エレベータロープ



# 鋼索鋼線セグメント (営業利益)

(単位: 百万円)

海外エレベーターロープおよび繊維ロープは増収に伴い増益も、国内エレベーターロープの減収およびコスト(償却費、諸資材等)増により減益



## 鋼索鋼線セグメント（事業施策）

### ・国内工場のリフレッシュ投資

土浦工場の老朽設備を最新型の設備に集約・更新し、生産性向上および省人化を行っている。

2017～2019年の設備投資額16億円（内、既投資額11億円）



世界最大級の大型伸線機



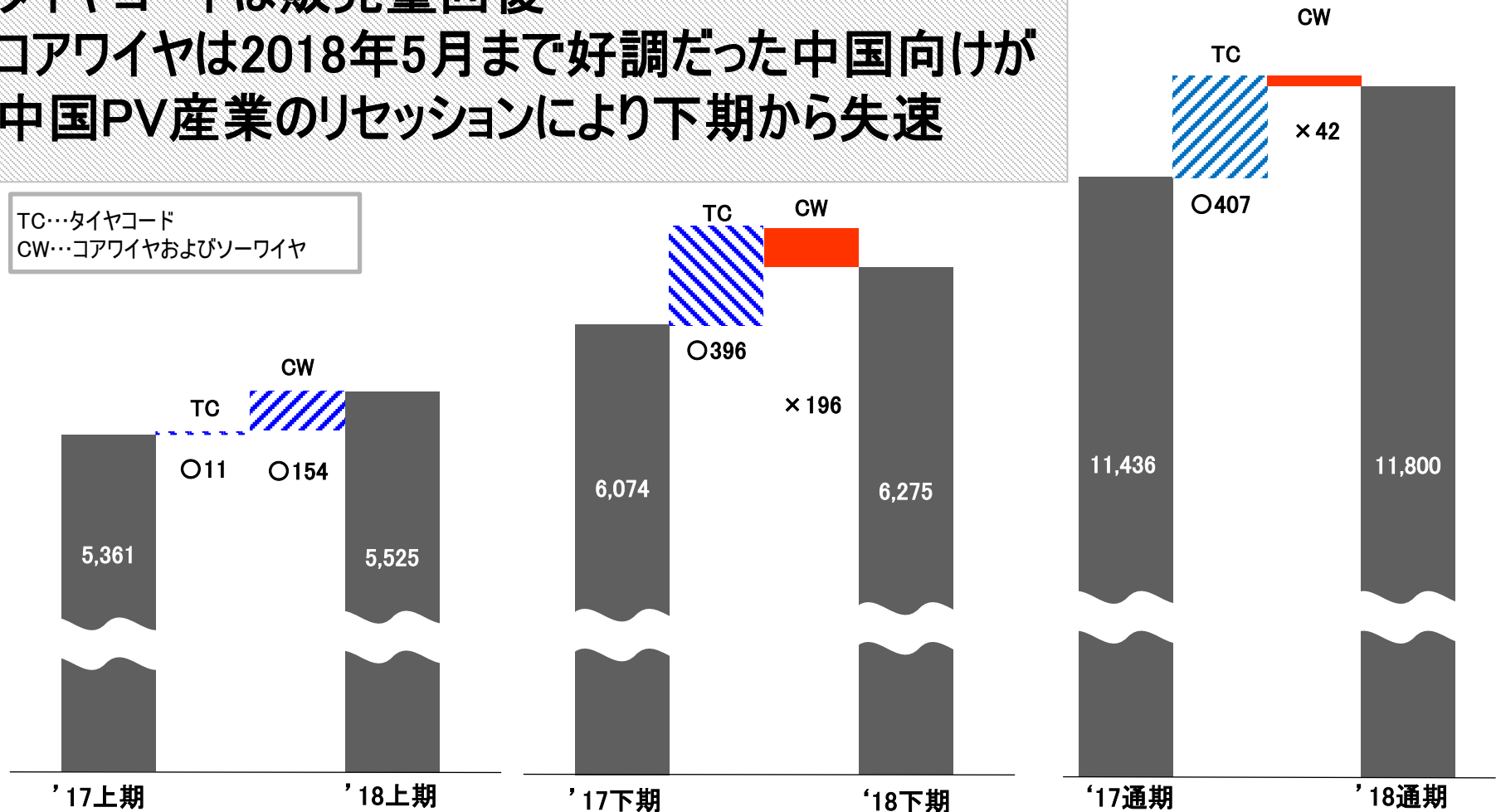
大型高速より線機

# スチールコードセグメント (売上高)

(単位: 百万円)

タイヤコードは販売量回復  
 コアワイヤは2018年5月まで好調だった中国向けが  
 中国PV産業のリセッションにより下期から失速

TC…タイヤコード  
 CW…コアワイヤおよびソーワイヤ



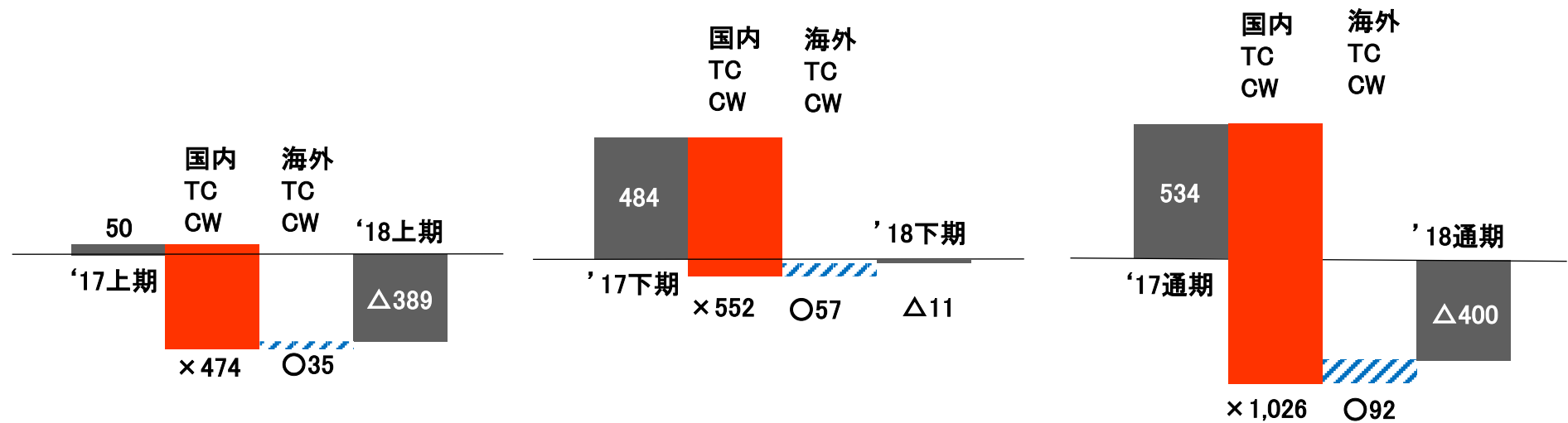


# スチールコードセグメント (営業利益)

(単位: 百万円)

タイヤコードおよびコアワイヤの販売ミックス悪化  
および諸資材等のコスト増加により減益

TC…タイヤコード  
CW…コアワイヤおよびソーワイヤ



# スチールコードセグメント（事業施策）

## 1. コアワイヤの足元状況

5/31に中国政府が公表した太陽光発電事業政策の転換を受けて、中国PV市場は大幅なリセッションに入り、DWメーカーも寡占化が進んでいる。

同業界においても今後は量から質へのシフトチェンジが見込まれ、CW製品では更なる細径化（ $\phi 60 \mu$ 未満）ニーズが拡大すると推察される。

当社はこの需要捕捉のため、日本製の高品質線材を使用し、当社の加工技術（最適の熱処理、伸線）にて細径製品開発に着手している。既に複数のDWメーカーへのサンプル供給、上市に向けた開発活動を推進しており、来るPV産業の回復時に向けた収益基盤の再構築を図っている。

（注）CW…コアワイヤ、DW…ダイヤモンド・ワイヤ、PV…太陽光発電

## 2. タイヤコードの抜本的収益改善

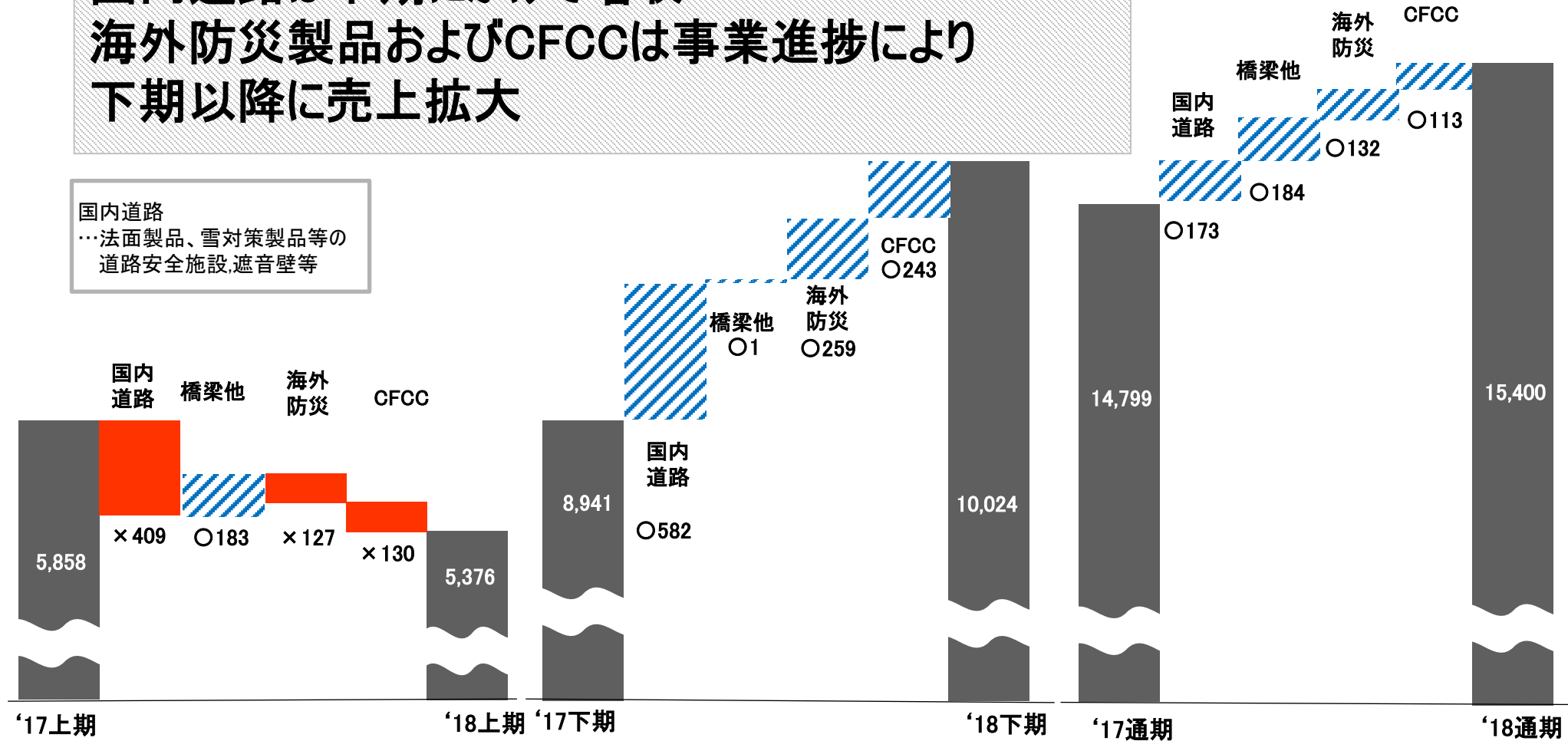
工程省略・省人・省エネを実現する最新鋭の機械設備を導入し、生産性向上・コスト競争力の更なる強化を進めている。（2018～2021年の設備投資額30億円）

# 開発製品セグメント (売上高)

(単位: 百万円)

国内道路は下期にかけて増収  
海外防災製品およびCFCCは事業進捗により  
下期以降に売上拡大

国内道路  
…法面製品、雪対策製品等の  
道路安全施設、遮音壁等

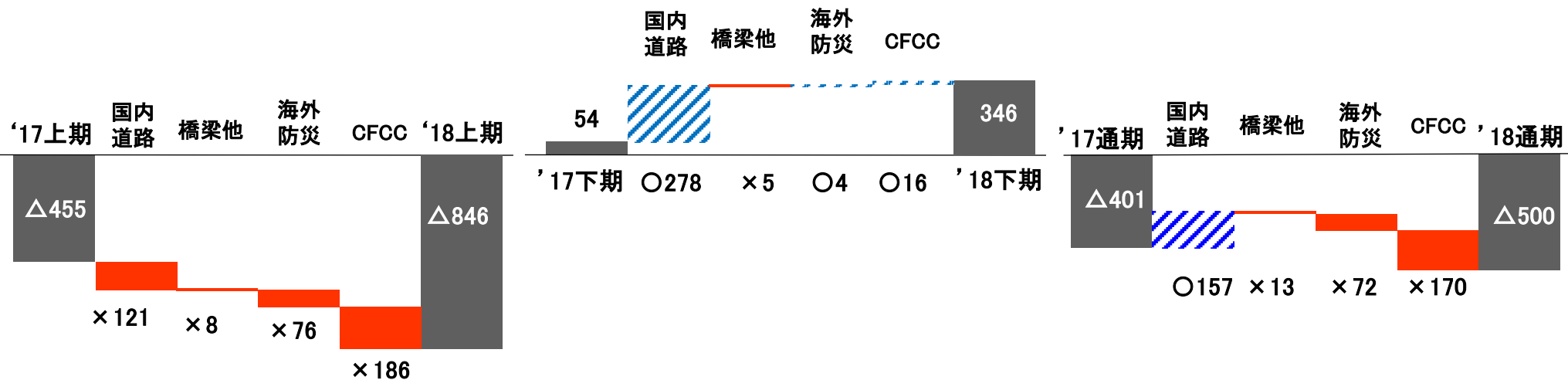


# 開発製品セグメント (営業利益)

(単位:百万円)

国内道路は増収に伴い増益  
CFCCは北上工場立上げ費用等先行コスト増

国内道路  
…法面製品、雪対策製品等の  
道路安全施設,遮音壁等



# 開発製品セグメント（国内道路の実績紹介）

落石対策

熊本県  
震災復興



防潮堤

福島県  
四倉港



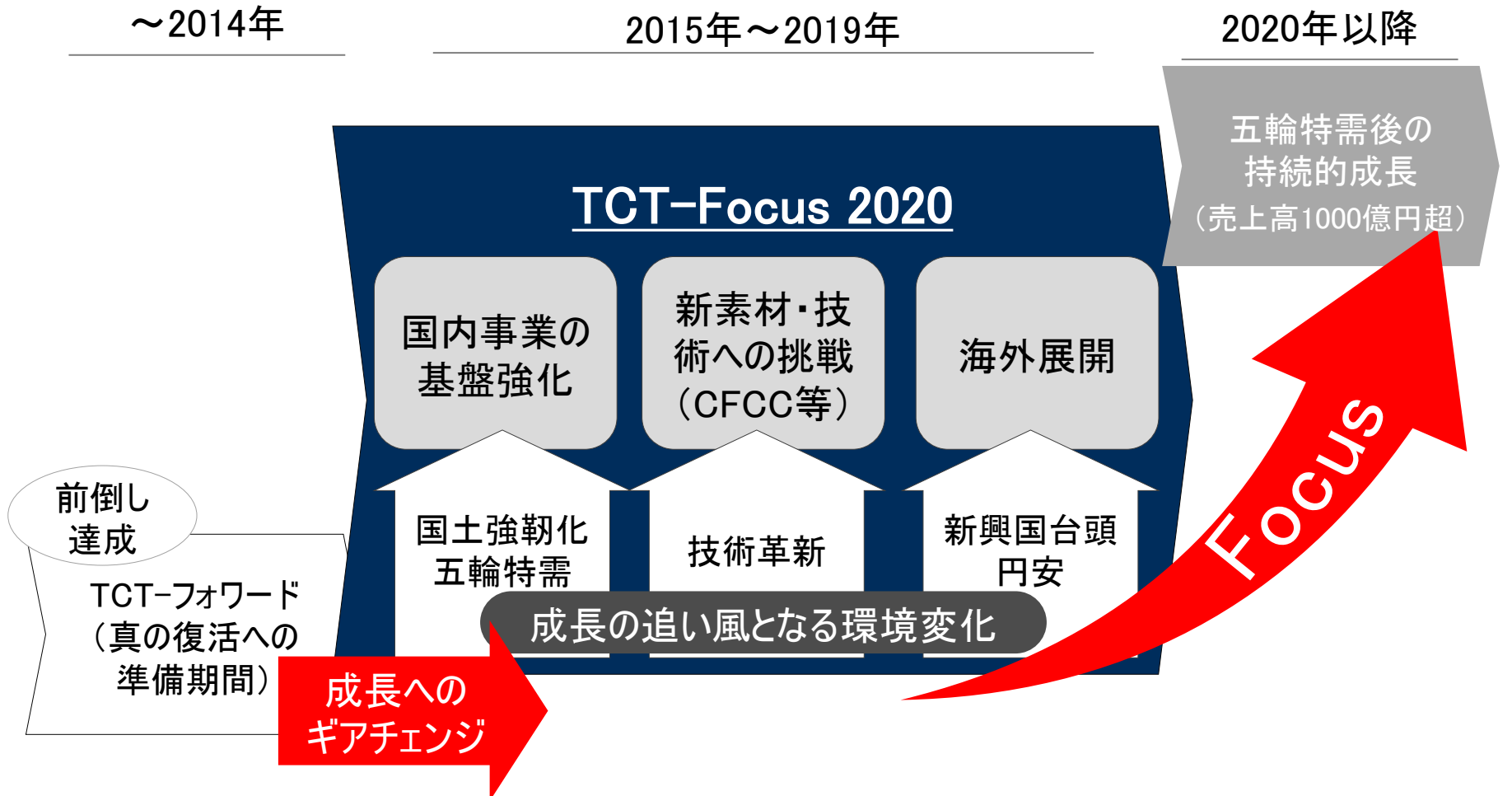
# 1. 2019年3月期第2四半期決算 および通期見通しの概要

## 2. セグメント別の状況

## 3. 中期経営計画の進捗

# 中期経営計画 TCT-Focus2020 の基本コンセプト

「国内事業の基盤強化」、「新素材・新技術への挑戦」、「海外展開」の3つをキーワードとして、全事業の活性化に挑戦する基本コンセプトを継続。最終年度の目標値に変更はなし。



# 成長戦略を担う東京製綱インターナショナル

中期経営計画の成長戦略を加速するためにCFCCおよび海外防災製品事業を分社化し、東京製綱インターナショナルを設立した。



## ●東京製綱インターナショナルの中期経営計画最終年度の定量目標(20/3期)

売上高

**130億円以上**  
(グループ全体:800億円以上)

海外比率

**95%**  
(グループ全体に占める%:16%)

営業利益

**25億円以上**  
(グループ全体:80億円以上)

EBITDA

**32億円以上**  
(グループ全体:100億円以上)



# 東京製綱インターナショナル(株)の状況 1/12

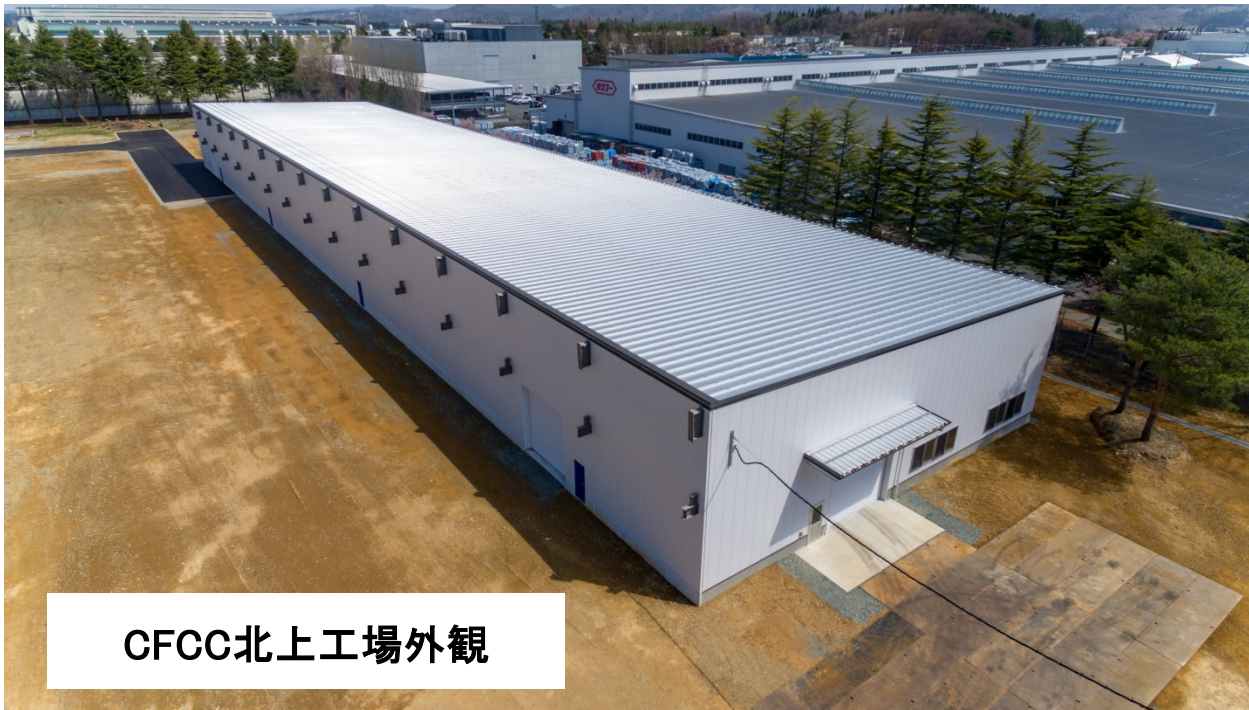
## CFCC®事業展開推移

年度	主な売上物件	主な設備投資（生産能力）【投資額】	人員数
2011年		蒲郡CFCC長尺化検証工場設立 (120km/年)【5億円】	14名
2012年	北米土木(41百万円)	蒲郡工場増設(1,000km/年)【2億円】	21名
2013年	中国海南島ACFR(23百万円) 北米土木(124百万円)		23名
2014年	インドネシアACFR(65百万円)	蒲郡工場増設(1,500km/年)【2億円】	22名
2015年	インドネシアACFR(587百万円)		45名
2016年	インドネシアACFR(110百万円) 北米土木(89百万円)	蒲郡工場増設(2,500km/年)【2億円】 北米工場設立(1,000km/年)【8億円】	48名
2017年	小名浜・釧路ハルツ棧橋(162百万円)	北米工場の土地・建屋購入【5億円】	52名
2018年	インドネシア・北米ACFR 北米土木(PCパイプ)	北上工場設立(3,500km/年)【15億円】	73名

## 東京製綱インターナショナル(株)の状況 2/12

### CFCC®生産拠点増強の状況

CFCC新工場(北上市:投資総額15億円)が完成。7/30開業式



CFCC北上工場外観

#### CFCC生産拠点 【生産能力/年】

- ・北上工場 (岩手県)  
【3,500km】
- ・蒲郡工場 (愛知県)  
【2,500km】
- ・北米工場 (ミシガン州)  
【1,000km】

総生産能力 : 7,000km

## 東京製綱インターナショナル(株)の状況 3/12

### CFCC<sup>®</sup> 送電線事業の海外展開

#### 1.インドネシア

- 住民運動により中断していたメダンププロジェクトが11月に完工。次期大型プロジェクト受注活動中
- ジャカルタ市内のプロジェクト案件(105km)を受注。12月に架設開始予定。架設指導員を派遣して架設工事サポートを行う



ジャカルタ架設予定路線  
写真奥の架空ケーブルをCFCC  
補強電線に張り替える。

## 東京製綱インターナショナル(株)の状況 4/12

### CFCC<sup>®</sup> 送電線事業の海外展開

#### 2.北米

- 北米の架空送電線最大手のケーブルメーカーであるサウスワイヤ社を北中米におけるパートナーとして販売展開中
- 同社はCFCC送電線をフルラインアップすることを発表
- テキサス州向け送電線用CFCCを受注し、出荷。2018年度中にケーブル製造・架設予定
- 共同で他州の大型案件の受注活動中



#### サウスワイヤ社

北米の架空送電線最大手のケーブルメーカー  
米国架空送電線シェア50%以上  
売上高6,000億円規模

## 東京製綱インターナショナル(株)の状況 5/12

### CFCC<sup>®</sup> 送電線事業の海外展開

#### 3.ロシア

- 国営送電会社・ROSSETI社がCFCC送電線のパイロットプロジェクトとしてカーニングラード地区プロジェクトを推進することを正式決定した  
2019年9月架設開始予定  
本プロジェクトは日露経済協力プラン省エネ部門に登録されている。
- 9月にウラジオストックで開催された東方経済フォーラムに参加し、プーチン大統領にCFCCのPRを実施

# 東京製綱インターナショナル(株)の状況 5/12

## C F C C<sup>®</sup> 送電線事業の海外展開

2018年9月 東方経済フォーラム@ウラジオストック



プーチン大統領



東京製綱  
インターナショナル  
佐藤社長

# 東京製綱インターナショナル(株)の状況 6/12

## CFCC®土木事業の進捗

### 1. 米国 コンクリート桁

- AASHTO(※)の 橋梁分野における委員会でCFRP (炭素繊維強化プラスチック)を緊張材として用いる場合の設計指針が承認された。これにより、全米各州でCFCCを用いた橋梁の設計が可能となり、CFCCの普及促進が期待される。
- ミシガン州の設計指針は運用が始まっており、2018年7月に橋桁40本を納入している。他州でも水平展開中

※AASHTO...米国全州道路交通運輸行政官協会

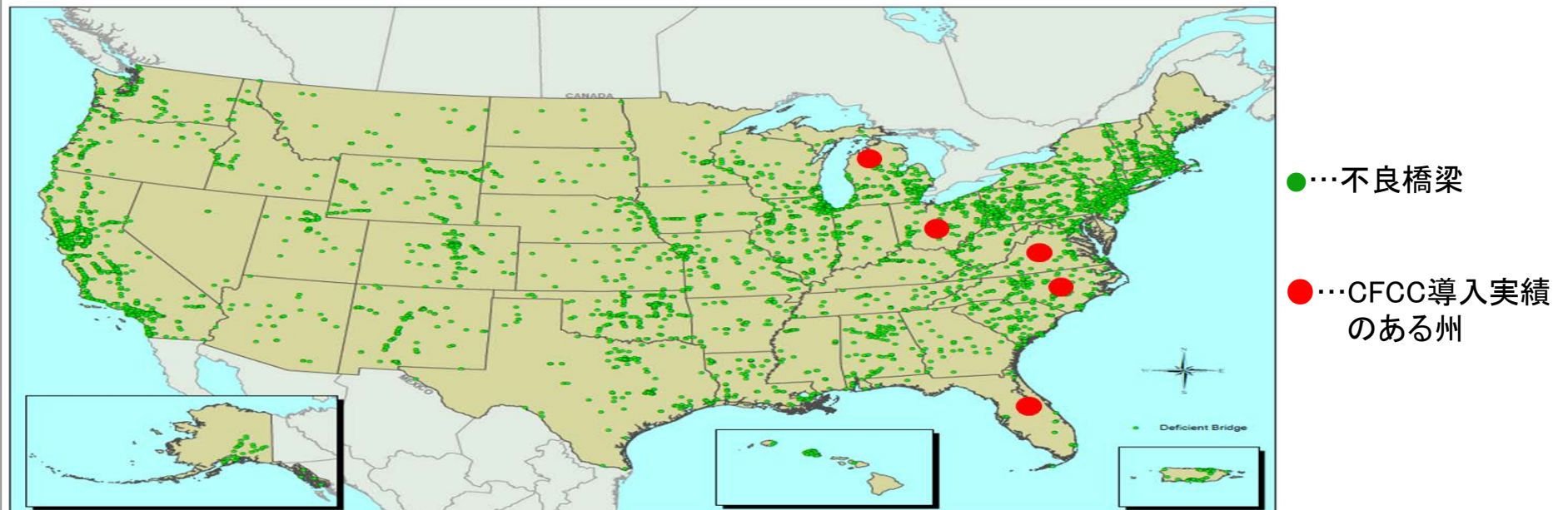


桁製作状況

# 東京製綱インターナショナル(株)の状況 7/12

## CFCC®土木事業の進捗

	-1961年までに 建造された橋梁数	1962-2011年に 建造された橋梁数	計
橋梁総数	205,059	400,043	605,102
不良橋梁数	46,796	20,730	67,526





# 東京製綱インターナショナル(株)の状況 8/12

## CFCC®土木事業の進捗

### 2.米国 コンクリート杭

バージニア州の大型橋梁「High Rise Bridge」でCFCCを使用したパイルの試験施工が完了。

今後、本格納入に向けた製作を開始



パイル試験施工状況



High Rise Bridge

# 東京製綱インターナショナル(株)の状況 9/12

## 防災製品の海外展開

### 1.カザフスタン

- 6月に防災製品の新工場が完成
- エセンタイ川のRockBox(当社仕様の高強度めっき線設計織込案件:9億円規模)を受注。工場フル稼働中
- 9月にナザルバエフ大統領が現地工場を視察



# 東京製綱インターナショナル(株)の状況 10/12

## 防災製品の海外展開

### 2.ロシア

- サクトペテルブルク経済特区において現地ゼネコンとのJVによる防災製品工場が10月完成。2019年4月本格稼働予定
- ロシア連邦道路局(ソチ)やロシア鉄道等(サハリン、極東地域)に対して案件形成のための営業展開中



ロシアのJV子会社・TRエンジニアリング



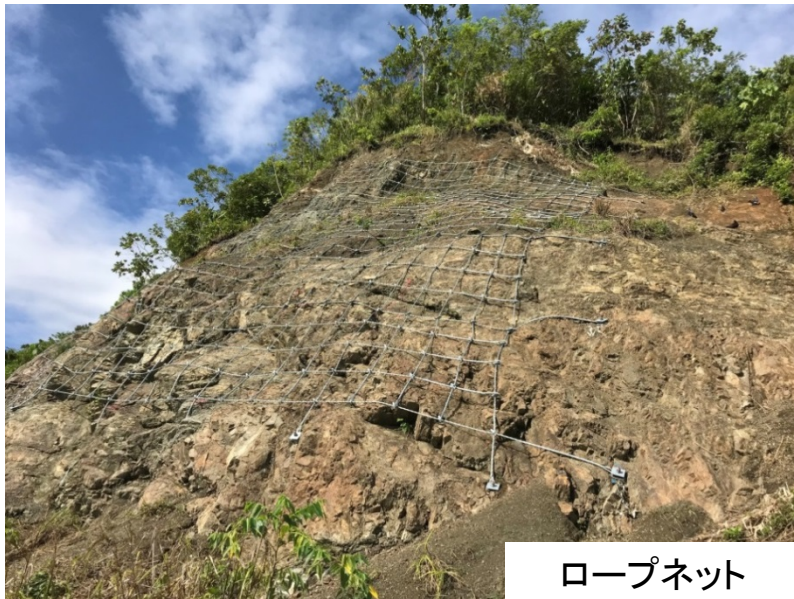
10/3工場開所式での金網製造デモ

# 東京製綱インターナショナル(株)の状況 11/12

## 防災製品の海外展開

### 3. フィリピン

JICAの技術支援プロジェクトとして同国で初受注  
来期以降も数億円の受注が見込める



ロープネット



カーテンネット

# 東京製綱インターナショナル(株)の状況 12/12

## 防災製品の海外展開

### 4.その他

- タジキスタンで落石対策向けRockBoxのパイロットプロジェクトを実施
- 在サウジアラビア日本大使公邸にてワークショップを開催する等、精力的に営業活動を展開



## 当社グループが目指す中期経営計画最終年度の姿

### 売上・利益の目標

(億円)

	18/3期 (実績)	19/3期(見込)		20/3期(中計目標)	
			18/3期比		18/3期比
売上高	635	650	+15	800	+165
海外比率	13.2%	13.0%	△0.2%	26%	+12.8%
営業利益	31	15	△16	80	+49
EBITDA	51	40	△11	108	+57

## 当社グループが目指す中期経営計画最終年度の姿

### 自己資本比率とROE、D/Eレシオ、配当政策

	18/3期 (実績)	19/3期(見込)		20/3期(中計目標)	
			18/3期比		18/3期比
自己資本比率	29.9%	29.3%	△0.6%	35.7%	+5.8%
ROE	10.2%	2.4%	△7.8%	15.9%	+5.8%
D/Eレシオ	1.09	1.16	×0.07	0.74	○0.35
配当目標	40円/株	40円/株		株主還元の拡大	

1. 期間利益を着実に積上げ、計画最終年度(20/3期)の自己資本比率は35%超とする見通し
2. D/Eレシオは1.0以下へ(※有利子負債圧縮、設備投資、配当拡大のバランス重視)
3. 継続的な安定配当をベースに、株主還元の拡大を目指す

本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

本資料に記載された予測、予想、見込みその他の将来情報は、現時点で当社が把握可能な情報および一定の前提または仮定に基づくものであり、今後、経済情勢をはじめ、当社の業績に影響を与える様々な既知または未知のリスクによって、ここに述べられている見通しと実際の結果が、大きく異なる可能性があります。